

心のかよう明るい社会の実現

老人福祉対策

本県は、人口の高齢化が全国を上回るテンポで進行しつつあり、高齢化社会の到来が身近なものとなっていることなどを十分考慮し、すべての老人が豊かで明るく生きがいのある生活を送ることができるよう諸施策の充実に努めます。

老人ホームを中心とした施設福祉対策については、今なお十分とはいえないまでも、ある程度の水準に達していることもあるので、今後の動向を見極めながら対応することになりますが、これからは、家族、友人等の人間関係を保持しながら永年住み慣れた地域社会の中で生活を維持することを希望している老人の福祉ニーズを勘案して、積極的な在宅福祉対策の確立に努めます。

特に、在宅ねたきり老人やひとり暮らしの老人対策につきましては、家庭奉仕員派遣事業の対象拡大を図り、在宅援護対策の充実に努めるとともに、本年度から新たに社会参加促進事業を実施するなど老後の生きがいを高めるための施策を促進します。

★保健医療の増進…………… 24億9,633万円

老人の健康診査、教育、健康の保持増進、予防、機能回復訓練、訪問看護等の事業を実施し、70歳以上の老人（ねたきり老人は65歳以上）の医療費を助成していますが、10月からは、新たに40歳からの健康教育、相談、健

康診査、機能回復訓練等の保健対策も行われる予定であります。

★生きがい対策…………… 1億2,714万円

老人の経験と知識、技能を活用し、生きがいと社会参加意識を高めるため、老人クラブに対して運営費を助成するとともに、就労を希望する老人については職業を紹介するなど老後の生活の安定と生きがいを高めてまいります。

☆社会参加促進事業…………… 510万円

老人の生きがい対策として、永年培ってきた知識経験を地域社会に還元してもらうため生産・創造活動並びに能力活用など社会に参加する事業について助成します。

★在宅老人援護対策事業…………… 3億6,872万円

日常生活を営むのに支障のある老人、心身障害者世帯に家庭奉仕員、介護人を派遣して生活のお世話をするとともに、市町村で実施する訪問看護、洗濯、寝具乾燥、入浴、食事サービス事業等の助成、老人の居室、浴室等の設備助成や日常生活用具の給付等環境の整備を図ります。

★ねたきり老人短期保護事業…………… 987万円

在宅のねたきり老人の介護者が、旅行や入院等で介護できなくなったとき、一時的に特別養護老人ホームで保護する事業について補助します。



老人と若人のつどい

★老人福祉施設入所措置…………… 49億7,244万円

身体上や環境、経済的理由で、家庭での生活ができない老人をそれぞれの老人ホームに入所を委託して費用を負担します。

★大規模年金保養基地対策費…………… 1億427万円

老人の総合的かつ多様な生きがい対策の拠点として、阿蘇郡久木野村に建設が予定されている保養基地の基本設計並びに調査測量を実施いたします。

心身障害者（児）福祉対策

心身障害者（児）の福祉向上のため、更生援護施設の内容充実を図るとともに、在宅障害者に対しては、補装具等の給付、医療費の助成、障害者の社会参加促進事業などの施策を進めておりますが、特に昨年の国際障害者年を契機として今後10年間の障害者福祉の県の長期計画を策定し、これに従い施策を推進することにしております。県国際障害者年懇話会から、その基本的な方針については提言がなされておりますので、これに沿って本年度は、いくつかの新規事業を実施するとともに従来からの事業の充実拡大を図っております。

★更生医療費等給付…………… 2億1,022万円

身体障害者の更生のため必要な医療費や補装具・日常生活用具を給付します。

★重度心身障害者（児）医療費助成…………… 3億1,960万円

重度の心身障害者（児）が容易に必要な医療を受けられるよう、各種の保険制度による自己負担相当額を市町村と分担して支給します。（一部について本人負担があります。）

★福祉手当の給付…………… 7億3,540万円

在宅の重度心身障害者に対し、1人月1万円（9月から1万550円）を支給します。

★身体障害者更生援護施設入所措置…………… 12億6,106万円

身体障害者更生援護施設に入所又は通所する費用を国・県で負担します。

☆盲導犬導入事業…………… 125万円

盲導犬を導入し重度の視覚障害者の就労等社会参加を促進します。

☆生活環境改善推進事業…………… 374万円

道路の段差解消など公共施設等を改善するための調査設計を行う市に対し、その費用を助成し、障害者の社会参加を促進します。

☆福祉タクシー設置助成…………… 157万円

重度の障害者が車いすのまま乗ることができるリフト付福祉タクシー購入の助成をします。

☆黄色いハンカチ運動の助成…………… 86万円

「手助けがほしい」障害者と「手助けをしたい」健常者のお互いの気持をつなぎ、ふれあいの輪を広げるための黄色いハンカチ運動を展開します。



希望の里第一号施設 くすのき園

●健康で明るい社会の建設 心のかよう明るい社会の実現